

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

“問題児”をも戦力化する建設的視点とは？

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【後を絶たない“一方的”とも言える指摘】

従業員の“処遇”問題が、今もなお、メディアやインターネット上の記事の対象となっています。もちろん、それ自体が“問題”だとは言えないでしょうが、“従業員の姿勢”を飛び越え、企業にばかり批判の目が向けられるのは、やはり“一方的”とも言えるかも知れません。

【従業員サイドの問題は？】

『従業員サイドには、本当に問題はなかったのか？』と問いたくなるからです。

しかし、こうした“指摘の暴走”に対しては、単に正論を吐いたり、“闘う姿勢”を見せたりすることでは、なかなか解決しそうにありません。

一度“感情的な流れ”が出来てしまうと、それに反することは、全て“言い訳”だと捉えられることすらあるからです。

【しかも、争いに勝ったとしても…】

更には、たとえ裁判のような場で、“対決”に勝ったとしても、それが“組織内の士気向上”に繋がらないなら、ビジネス上の意味は乏しいとも言わざるを得ないのです。

【始まった“従業員”研究】

そのため最近では、従業員が置かれている“状況”や“心理”を、もっと研究しようという動きが、経営者の間で盛んになりつつあるようです。

それは、実際に“問題児”に見える人材に対しても、単なる“叱責”や“評価（処遇）”で留めず、“その種の人”を戦力化するには、どうすればよいかを考える姿勢を持つということです。

【人の“内面”は多様な姿で引き出せる！】

その背景には、“人の内面”には様々な要素があり、企業の“接し方”一つで、その人の良い面が引き出せるという“思い”があるからのようです。多くの経営者が、単に“従業員の過剰な要求に負けない”組織を作る発想に留まらず、活力ある組織作りに乗り出すことは、企業にとっても人材にとっても、朗報だと言えそうです。

【マネジメント・レポートを購読しませんか！】

そんな“従業員の戦力化”テーマに、実践的に取り組んだ“事例”をまとめたマネジメント・レポートをご用意致しました。定期購読希望者には、レポートを送ります。ご一報ください。



様々なメディアやインターネットで、いわゆる“ブラック企業（雇用上問題がある企業）”の報道や記載が増大を続けています。ただ、その内容には、経営視点からは“理不尽”にも映るものがあるはずです。

なぜ、そんな“理不尽”とも言える指摘が横行するのでしょうか。そして、そうした事態にどう対処し、その中から、どのように“人材パワー”をくみ上げて行けばよいのでしょうか。

ある経営者の苦慮と、そこから至った結論を追ってみました…。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL：022-292-2351

FAX：022-292-2352

URL：<http://www.henmi-adm.jp/>